

2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所

東

コード番号 3180

URL https://www.beautygarage.co.jp/ (氏名) 野村秀輝

者 (役職名) 代 表 代表取締役CEO兼COO 執行役員経営管理グループ統括 問合せ先責任者 (役職名)

(氏名) 齋藤高広 (TEL) 03-6805-9785

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無

決算説明会開催の有無

(機関投資家・アナリスト向け : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第1四半期の連結業績(2024年5月1日~2024年7月31日)

:有

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

* * *=********************************								
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年 4 月期第 1 四半期	7, 881	9.8	315	△18.0	312	△21.1	244	△6. 2
2024年 4 月期第 1 四半期	7, 176	18. 1	384	49. 9	395	53. 1	260	30. 4
(1)	Ha 65 414 Ha	0.40	_ / /		4	1. #5	000	07 7

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 246百万円($\triangle 8.9\%$ 2024年4月期第1四半期 269百万円(27.7%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2025年4月期第1四半期	19. 29	_
2024年 4 月期第 1 四半期	20. 60	_

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に 当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定して おります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年 4 月期第 1 四半期	13, 630	7, 283	52. 1
2024年 4 月期	13, 624	7, 139	51.0

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期

7,101百万円 2024年4月期

6.950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期	末	第2四半期末	第3四半期末	ŧ	期末	合計		
2024年 4 月期 2025年 4 月期	Ħ	銭 一 一	円 銭 12.00	円 :	銭	円 銭 7.00	円 銭 一		
2025年4月期(予想)			7. 00	-	_	7. 00	14. 00		

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の期末配当金につ いては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2024年4月期第2四半 期末の1株当たり配当金は6円、年間配当金は13円となります。

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16, 381	14. 2	780	1. 9	779	△0.1	507	△3.8	40. 10
通期	33, 987	13. 9	1, 816	6.8	1, 815	5. 6	1, 210	11. 6	95. 73

: 無

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年4月期1Q	12, 752, 000 株	2024年 4 月期	12, 752, 000 株
2025年4月期1Q	101, 556株	2024年 4 月期	101, 502株
2025年4月期1Q	12, 650, 486 株	2024年4月期1Q	12, 632, 064株

(注) 2023年11月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	. 当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	7
	第1四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(会計方針の変更)	
	(セグメント情報等)	_
	(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
	(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の拡大もあり、緩やかな回復傾向が続いております。一方で不安定な国際情勢、各種原材料・エネルギー価格の高騰、為替相場の急変動等、先行きが不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、来店客数の増加、値上げの浸透もあり客単価の上昇が続いており、引き続き緩やかな回復基調が続いております。

そのような状況下、当社グループでは今後の継続的な成長実現のため積極投資を行いつつ、新たな顧客層の開拓 というテーマにも取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,881,419千円(前年同期比9.8%増)、売上総利益は1,995,264千円(前年同期比9.2%増)、営業利益は315,112千円(前年同期比18.0%減)、経常利益は312,385千円(前年同期比21.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は244,083千円(前年同期比6.2%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等向けに提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善に努めるとともに、「ビューティワールドジャパン」や「SPORTEC」への出展を通した新商品・新サービスの認知拡大等に取り組んでまいりました。また、来期稼働予定の第三ディストリビューションセンターの開設準備を開始しております。

この結果、物販事業全体としての売上高は6,814,139千円(前年同期比13.8%増)、セグメント利益は319,287千円(前年同期比10.9%減)となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の五拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、クリニック等高単価の新規案件が獲得出来、平均案件単価を押し上げることが出来た一方、前四半期に需要が集中した反動や多くの月跨ぎ工事もあり、完了案件数を大きく減少させる結果となりました。

この結果、当事業の売上高は516,317千円(前年同期比32.1%減)、セグメント損失は11,800千円(前年同期は33,781千円のセグメント利益)となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、店舗リース、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。これら周辺ソリューション事業は、今後の当社グループの成長のキードライバーとなるものと考え、サービスラインナップの拡充と、新規顧客の獲得やクロスセルに注力しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、各種サービスのうち、店舗リース、提携ビジネスカード、損害保険、低コスト電力の供給、マーケティング支援等が堅調に伸長しました。この結果、当事業の売上高は550,962千円(前年同期比29.4%増)、セグメント利益は65,530千円(前年同期比50.6%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、10,905,596千円となりました。これは、主に現金及び預金と棚卸資産の増加があったものの、売上債権の減少があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、2,725,088千円となりました。これは、主に無形固定資産の減少があったものの、有形固定資産と投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、4,811,608千円となりました。これは、主に未払法人税等の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、1,535,781千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、7,283,295千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少88,553千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加244,083千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月10日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 523, 768	3, 578, 868
受取手形及び売掛金	2, 869, 968	2, 644, 058
リース投資資産	242, 469	277, 317
営業投資有価証券	161, 984	161, 984
商品及び製品	3, 199, 442	3, 195, 878
仕掛品	150, 992	180, 232
前渡金	221, 950	237, 351
その他	571, 070	648, 722
貸倒引当金	△20, 226	△18,818
流動資産合計	10, 921, 420	10, 905, 596
固定資産		
有形固定資産	325, 832	336, 898
無形固定資産		
ソフトウエア	327, 012	307, 268
のれん	207, 837	190, 368
その他	7, 684	7, 093
無形固定資産合計	542, 533	504, 730
投資その他の資産	1, 834, 804	1, 883, 459
固定資産合計	2, 703, 170	2, 725, 088
資産合計	13, 624, 591	13, 630, 684

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 015, 919	2, 042, 255
短期借入金	5,000	20, 000
1年内返済予定の長期借入金	547, 085	494, 025
未払金	394, 208	410, 949
未払法人税等	381, 522	155, 178
前受金	523, 389	635, 940
契約負債	262, 722	278, 746
資産除去債務	3, 231	3, 231
賞与引当金	89, 396	192, 362
その他	634, 948	578, 919
流動負債合計	4, 857, 423	4, 811, 608
固定負債		
長期借入金	1, 085, 531	975, 056
退職給付に係る負債	42, 492	40, 436
資産除去債務	65, 223	66, 916
その他	434, 208	453, 372
固定負債合計	1, 627, 455	1, 535, 781
負債合計	6, 484, 879	6, 347, 389
純資産の部		
株主資本		
資本金	768, 385	768, 385
資本剰余金	794, 585	794, 585
利益剰余金	5, 469, 011	5, 624, 541
自己株式	△80, 608	△80, 691
株主資本合計	6, 951, 373	7, 106, 820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	△1, 330
為替換算調整勘定	△3, 864	△3, 853
その他の包括利益累計額合計	△1,088	△5, 184
非支配株主持分	189, 426	181, 659
純資産合計	7, 139, 712	7, 283, 295
負債純資産合計	13, 624, 591	13, 630, 684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日
	至 2023年7月31日)	至 2024年7月31日)
売上高	7, 176, 192	7, 881, 419
売上原価	5, 348, 244	5, 886, 154
売上総利益	1, 827, 948	1, 995, 264
販売費及び一般管理費	1, 443, 498	1, 680, 152
営業利益	384, 450	315, 112
営業外収益		
受取利息及び配当金	2, 481	1, 861
為替差益	3, 859	_
受取手数料	2, 133	2, 305
債権譲渡益	3, 682	_
その他	1, 297	653
営業外収益合計	13, 454	4, 820
営業外費用		
支払利息	1, 662	2, 468
為替差損	_	4, 014
その他	428	1,064
営業外費用合計	2,090	7, 547
経常利益	395, 813	312, 385
税金等調整前四半期純利益	395, 813	312, 385
法人税、住民税及び事業税	150, 989	90, 812
法人税等調整額	△17, 736	△25, 701
法人税等合計	133, 253	65, 110
四半期純利益	262, 560	247, 274
非支配株主に帰属する四半期純利益	2, 344	3, 190
親会社株主に帰属する四半期純利益	260, 215	244, 083

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	262, 560	247, 274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	_	△1, 330
為替換算調整勘定	7, 339	66
四半期包括利益	269, 900	246, 010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266, 119	242, 763
非支配株主に係る四半期包括利益	3, 781	3, 247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3 項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28 号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び四半期財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

					(+	<u> 14</u>
		報告セク		調整額	四半期連結 損益計算書	
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高						
理美容機器・用品	2, 371, 447	_	_	2, 371, 447	_	2, 371, 447
化粧品等	3, 488, 404	_	_	3, 488, 404	_	3, 488, 404
金属スチール家具	130, 151	_	_	130, 151	_	130, 151
その他	_	760, 304	425, 884	1, 186, 189	_	1, 186, 189
顧客との契約から生じる収益	5, 990, 003	760, 304	425, 884	7, 176, 192	-	7, 176, 192
外部顧客への売上高	5, 990, 003	760, 304	425, 884	7, 176, 192	_	7, 176, 192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2, 741	697	1, 152	4, 590	△4, 590	_
計	5, 992, 744	761, 002	427, 036	7, 180, 783	△4, 590	7, 176, 192
セグメント利益	358, 369	33, 781	43, 501	435, 652	△51, 202	384, 450

- (注) 1. セグメント利益の調整額 \triangle 51,202千円には、セグメント間取引消去6,518千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 57,721千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円) 報告セグメント 四半期連結 損益計算書 調整額 (注) 1 計上額 その他周辺ソ (注) 2 リューション 物販事業 店舗設計事業 計 事業 売上高 理美容機器・用品 2, 462, 073 2, 462, 073 2, 462, 073 化粧品等 4, 230, 909 4, 230, 909 4, 230, 909 金属スチール家具 121, 156 121, 156 121, 156 その他 516, 317 550, 962 1,067,280 1,067,280 顧客との契約から生じる収益 6,814,139 516, 317 550, 962 7, 881, 419 7, 881, 419 外部顧客への売上高 6,814,139 516, 317 550, 962 7, 881, 419 7, 881, 419 セグメント間の内部売上高 3,980 33, 365 2,583 39,929 △39, 929 又は振替高 計 6, 818, 119 549,682 553, 545 7, 921, 348 △39, 929 7, 881, 419

(注) 1. セグメント利益の調整額 \triangle 57,905千円には、セグメント間取引消去2,457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 60,362千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

65,530

373,017

 $\triangle 57,905$

315, 112

△11,800

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

319, 287

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

セグメント利益又は損失(△)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 2023年5月1日	(自 2024年5月1日
	至 2023年7月31日)	至 2024年7月31日)
減価償却費	42,669千円	46,106千円
のれんの償却額	17,468千円	17,468千円

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年9月9日開催の取締役会において、下記のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するためであります。

- (2) 取得に係る事項の内容
 - ① 取得対象株式の種類普通株式
 - ② 取得し得る株式の総数

160,000 株 (上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.26%)

③ 株式の取得価額の総額

200百万円 (上限)

④ 取得期間

2024年9月10日から2024年12月31日まで